

コロナ危機後の国際秩序と ハイテク覇権競争

2020年10月15日（木）13:30～15:00

Zoom(予定)によるオンライン開催

本会WEBサイト(<https://www.nikkeicho.or.jp>)よりお申込みください

※Web配信のため、申込には必ずEmailをご記入ください

申込期限：2020年10月8日（木）

年初からの新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大で、国際秩序や経済の相互依存体制の今後が不透明になっています。各国政府間の協調が困難になる一方、グローバル・サプライ・チェーンの問題が明らかになりました。今回は、米中間のハイテク覇権競争を中心に、11月の米大統領選挙の行方等も踏まえ、今後の国際秩序の行方と日本のあり方について考えてみたいと思います。

【講師紹介】



金子 将史 氏

政策シンクタンク PHP総研 代表・研究主幹
株式会社PHP研究所 執行役員

1993年、東京大学文学部卒業。95年、東京大学大学院人文科学研究科修士課程修了。広告会社勤務を経て、98年、(財)松下政経塾に入塾。安全保障問題を中心に研修活動を行う(2001年卒塾)。2001年、英国ロンドン大学キングスカレッジMA in War Studies修了。フジタ未来経営研究所リサーチフェロー、(財)平和・安全保障研究所・奨学研究生などを経て、04年、株式会社PHP総合研究所(現株式会社PHP研究所)入社。主任研究員、主席研究員、首席研究員を経て現職。慶應義塾大学大学院非常勤講師、国家戦略会議・フロンティア分科会「平和のフロンティア」部会委員、外務省「広報文化外交の制度的あり方に関する有識者懇談会」委員、「国家安全保障会議の創設に関する有識者会議」議員、外務省「科学技術外交推進会議」委員、などを歴任。国際安全保障学会理事。